

土木工事標準積算基準（令和6年4月1日一部改正）新旧対照表

頁  
第I編第2章  
②工事費の積算  
I-2-②-35  
(147)

新		旧	
別表第2 現場管理費率		別表第2 現場管理費率	
第1表		第1表	
対象額	700万円以下	700万円を超え10億円以下	10億円を超えるもの
適用区分	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による A b	下記の率とする
工種区分			
河川工事	52.86	1341.84 -0.2052	19.09
河川・道路構造物工事	51.73	482.76 -0.1417	25.61
海岸工事	33.73	120.36 -0.0807	22.61
道路改良工事	40.91	91.68 -0.0512	31.73
鋼橋架設工事	58.63	318.12 -0.1073	34.43
P C橋工事	37.27	133.20 -0.0808	24.96
舗装工事	49.00	717.60 -0.1703	21.05
砂防・地すべり等工事	55.52	1475.40 -0.2081	19.78
公園工事	51.71	416.76 -0.1324	26.81
電線共同溝工事	73.43	2559.00 -0.2253	24.01
情報ボックス工事	65.52	1834.08 -0.2114	22.96
下水道(4)工事	42.67	214.32 -0.1024	25.67
(注)基礎地盤から堤頂までの高さが20m以上の砂防堰堤は、砂防・地すべり等工事に2%加算する。 ※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。			
第2表		第2表	
対象額	700万円以下	700万円を超え3億円以下	3億円を超えるもの
適用区分	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による A b	下記の率とする
工種区分			
橋梁保全工事	79.06	1758.24 -0.1968	37.74
※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。			
第3表		第3表	
対象額	200万円以下	200万円を超え1億円以下	1億円を超えるもの
適用区分	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による A b	下記の率とする
工種区分			
道路維持工事	72.40	735.60 -0.1598	38.75
河川維持工事	50.82	200.52 -0.0946	35.10
※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。			
第4表		第4表	
対象額	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下	20億円を超えるもの
適用区分	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による A b	下記の率とする
工種区分			
共同溝工事	(1) 60.68 (2) 46.54	421.20 -0.1202 124.20 -0.0609	32.10 33.71
トンネル工事	54.67	227.28 -0.0884	34.22
下水道工事	(1) 41.99 (2) 45.85 (3) 39.26	58.80 -0.0209 242.76 -0.1034 56.16 -0.0222	37.58 26.51 34.91
※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。			

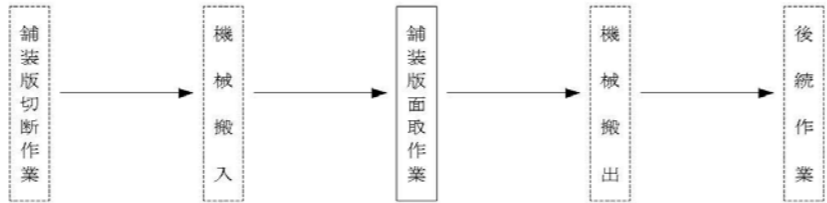
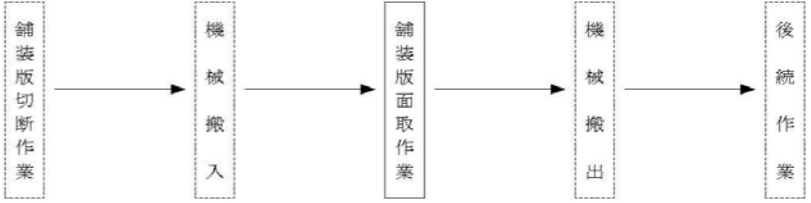
新		旧	
別表第2 現場管理費率		別表第2 現場管理費率	
第1表		第1表	
対象額	700万円以下	700万円を超え10億円以下	10億円を超えるもの
適用区分	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による A b	下記の率とする
工種区分			
河川工事	52.12	1532.04 -0.2145	17.98
河川・道路構造物工事	51.05	549.84 -0.1508	24.16
海岸工事	33.35	136.68 -0.0895	21.38
道路改良工事	40.43	104.40 -0.0602	29.99
鋼橋架設工事	57.89	363.72 -0.1166	32.46
P C橋工事	36.94	145.08 -0.0868	24.01
舗装工事	48.46	802.44 -0.1781	20.03
砂防・地すべり等工事	54.90	1644.72 -0.2157	18.83
公園工事	51.16	464.76 -0.1400	25.54
電線共同溝工事	72.43	2890.56 -0.2339	22.69
情報ボックス工事	64.85	2030.40 -0.2185	21.94
下水道(4)工事	42.06	245.80 -0.1120	24.13
(注)基礎地盤から堤頂までの高さが20m以上の砂防堰堤は、砂防・地すべり等工事に2%加算する。 ※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。			
第2表		第2表	
対象額	700万円以下	700万円を超え3億円以下	3億円を超えるもの
適用区分	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による A b	下記の率とする
工種区分			
橋梁保全工事	77.96	1948.44 -0.2042	36.19
※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。			
第3表		第3表	
対象額	200万円以下	200万円を超え1億円以下	1億円を超えるもの
適用区分	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による A b	下記の率とする
工種区分			
道路維持工事	72.00	757.44 -0.1622	38.17
河川維持工事	50.54	206.76 -0.0971	34.57
※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。			
第4表		第4表	
対象額	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下	20億円を超えるもの
適用区分	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による A b	下記の率とする
工種区分			
共同溝工事	(1) 60.01 (2) 46.00	476.88 -0.1286 143.52 -0.0706	30.36 31.64
トンネル工事	53.96	264.00 -0.0985	32.03
下水道工事	(1) 41.47 (2) 45.35 (3) 38.93	67.92 -0.0306 275.76 -0.1120 63.24 -0.0301	35.27 25.06 33.19
※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済(復興係数適用済)の値である。			

土木工事標準積算基準（令和6年4月1日一部改正）新旧対照表

頁	新	旧																																																																																																																																																																												
第I編第2章 ②工事費の積算  I-2-②-36 (①48)	<p><b>第5表</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額 適用区分</th> <th>3億円以下</th> <th colspan="2">3億円を超え50億円以下</th> <th>50億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <th>A</th> <th>b</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートダム</td> <td>37.43</td> <td>42.00</td> <td>-0.0059</td> <td>36.82</td> </tr> <tr> <td>フィルダム</td> <td>41.51</td> <td>185.88</td> <td>-0.0768</td> <td>33.44</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p> <p><b>第6表</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額 適用区分</th> <th>700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え20億円以下</th> <th>20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <th>A</th> <th>b</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>港湾・漁港 工事</td> <td>28.90</td> <td>98.64</td> <td>-0.0779</td> <td>18.60</td> </tr> <tr> <td>浚渫工事</td> <td>29.58</td> <td>48.60</td> <td>-0.0315</td> <td>24.76</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p> <p><b>第6-1表</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額 適用区分</th> <th>700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え10億円以下</th> <th>10億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <th>A</th> <th>b</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海岸工事(漁港・港湾に関わる海岸)</td> <td>33.73</td> <td>120.36</td> <td>-0.0807</td> <td>22.61</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p> <p><b>第7表</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額 適用区分</th> <th>700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え4億円以下</th> <th>4億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <th>A</th> <th>b</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>港湾・漁港構造物工事・海岸工事</td> <td>27.29</td> <td>105.84</td> <td>-0.0860</td> <td>19.27</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p>	対象額 適用区分	3億円以下	3億円を超え50億円以下		50億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	工種区分		A	b		コンクリートダム	37.43	42.00	-0.0059	36.82	フィルダム	41.51	185.88	-0.0768	33.44	対象額 適用区分	700万円以下	700万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	工種区分		A	b		港湾・漁港 工事	28.90	98.64	-0.0779	18.60	浚渫工事	29.58	48.60	-0.0315	24.76	対象額 適用区分	700万円以下	700万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	工種区分		A	b		海岸工事(漁港・港湾に関わる海岸)	33.73	120.36	-0.0807	22.61	対象額 適用区分	700万円以下	700万円を超え4億円以下		4億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	工種区分		A	b		港湾・漁港構造物工事・海岸工事	27.29	105.84	-0.0860	19.27	<p><b>第5表</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額 適用区分</th> <th>3億円以下</th> <th colspan="2">3億円を超え50億円以下</th> <th>50億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <th>A</th> <th>b</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートダム</td> <td>36.49</td> <td>49.2</td> <td>-0.0153</td> <td>34.96</td> </tr> <tr> <td>フィルダム</td> <td>40.27</td> <td>221.76</td> <td>-0.0874</td> <td>31.49</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p> <p><b>第6表</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額 適用区分</th> <th>700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え20億円以下</th> <th>20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <th>A</th> <th>b</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>港湾・漁港 工事</td> <td>28.32</td> <td>118.68</td> <td>-0.0909</td> <td>16.94</td> </tr> <tr> <td>浚渫工事</td> <td>29.10</td> <td>55.80</td> <td>-0.0413</td> <td>23.04</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p> <p><b>第6-1表</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額 適用区分</th> <th>700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え10億円以下</th> <th>10億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <th>A</th> <th>b</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海岸工事(漁港・港湾に関わる海岸)</td> <td>33.26</td> <td>136.32</td> <td>-0.0895</td> <td>21.34</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p> <p><b>第7表</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額 適用区分</th> <th>700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え4億円以下</th> <th>4億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <th>A</th> <th>b</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>港湾・漁港構造物工事・海岸工事</td> <td>26.98</td> <td>116.28</td> <td>-0.0927</td> <td>18.54</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p>	対象額 適用区分	3億円以下	3億円を超え50億円以下		50億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	工種区分		A	b		コンクリートダム	36.49	49.2	-0.0153	34.96	フィルダム	40.27	221.76	-0.0874	31.49	対象額 適用区分	700万円以下	700万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	工種区分		A	b		港湾・漁港 工事	28.32	118.68	-0.0909	16.94	浚渫工事	29.10	55.80	-0.0413	23.04	対象額 適用区分	700万円以下	700万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	工種区分		A	b		海岸工事(漁港・港湾に関わる海岸)	33.26	136.32	-0.0895	21.34	対象額 適用区分	700万円以下	700万円を超え4億円以下		4億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	工種区分		A	b		港湾・漁港構造物工事・海岸工事	26.98	116.28	-0.0927	18.54
対象額 適用区分	3億円以下		3億円を超え50億円以下		50億円を超えるもの																																																																																																																																																																									
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																																																										
工種区分		A	b																																																																																																																																																																											
コンクリートダム	37.43	42.00	-0.0059	36.82																																																																																																																																																																										
フィルダム	41.51	185.88	-0.0768	33.44																																																																																																																																																																										
対象額 適用区分	700万円以下	700万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの																																																																																																																																																																										
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																																																										
工種区分		A	b																																																																																																																																																																											
港湾・漁港 工事	28.90	98.64	-0.0779	18.60																																																																																																																																																																										
浚渫工事	29.58	48.60	-0.0315	24.76																																																																																																																																																																										
対象額 適用区分	700万円以下	700万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの																																																																																																																																																																										
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																																																										
工種区分		A	b																																																																																																																																																																											
海岸工事(漁港・港湾に関わる海岸)	33.73	120.36	-0.0807	22.61																																																																																																																																																																										
対象額 適用区分	700万円以下	700万円を超え4億円以下		4億円を超えるもの																																																																																																																																																																										
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																																																										
工種区分		A	b																																																																																																																																																																											
港湾・漁港構造物工事・海岸工事	27.29	105.84	-0.0860	19.27																																																																																																																																																																										
対象額 適用区分	3億円以下	3億円を超え50億円以下		50億円を超えるもの																																																																																																																																																																										
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																																																										
工種区分		A	b																																																																																																																																																																											
コンクリートダム	36.49	49.2	-0.0153	34.96																																																																																																																																																																										
フィルダム	40.27	221.76	-0.0874	31.49																																																																																																																																																																										
対象額 適用区分	700万円以下	700万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの																																																																																																																																																																										
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																																																										
工種区分		A	b																																																																																																																																																																											
港湾・漁港 工事	28.32	118.68	-0.0909	16.94																																																																																																																																																																										
浚渫工事	29.10	55.80	-0.0413	23.04																																																																																																																																																																										
対象額 適用区分	700万円以下	700万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの																																																																																																																																																																										
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																																																										
工種区分		A	b																																																																																																																																																																											
海岸工事(漁港・港湾に関わる海岸)	33.26	136.32	-0.0895	21.34																																																																																																																																																																										
対象額 適用区分	700万円以下	700万円を超え4億円以下		4億円を超えるもの																																																																																																																																																																										
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																																																										
工種区分		A	b																																																																																																																																																																											
港湾・漁港構造物工事・海岸工事	26.98	116.28	-0.0927	18.54																																																																																																																																																																										
	① 48	I-2-②-36	① 48	I-2-②-36																																																																																																																																																																										

土木工事標準積算基準（令和6年4月1日一部改正）新旧対照表

頁	新	旧																																																																																																																																																
第I編第2章 ②工事費の積算  I-2-②-37 (①49)	<p><b>第8表</b></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額</th> <th>500万円以下</th> <th colspan="2">500万円を超え50億円以下</th> <th>50億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>適用区分</th> <th></th> <th>A</th> <th>b</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空港用地造成工事</td> <td>42.11</td> <td>143.52</td> <td>-0.0795</td> <td>24.31</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p> <p><b>第9表</b></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額</th> <th>500万円以下</th> <th colspan="2">500万円を超え20億円以下</th> <th>20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>適用区分</th> <th></th> <th>A</th> <th>b</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空港舗装工事</td> <td>35.62</td> <td>203.52</td> <td>-0.1130</td> <td>18.10</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p> <p><b>第10表</b></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額</th> <th>500万円以下</th> <th colspan="2">500万円を超え2億円以下</th> <th>2億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>適用区分</th> <th></th> <th>A</th> <th>b</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空港維持工事</td> <td>73.10</td> <td>600.24</td> <td>-0.1365</td> <td>44.18</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p> <p>2) 算定式  <math display="block">J_o = A \cdot N p^b</math>                     ただし、<math>J_o</math>：現場管理費率（%）  <math>N p</math>：純工事費（円）  <math>A, b</math>：変数値                      注）1. <math>J_o</math>の値は、小数第3位を四捨五入して第2位とする。                      2. 対象額とする純工事費については、「2. 共通仮設費（2）算定方法1）率計算式による部分の(ニ)」及び「2. 共通仮設費（2）算定方法5）間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。                 </p>	対象額	500万円以下	500万円を超え50億円以下		50億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	適用区分		A	b		工種区分					空港用地造成工事	42.11	143.52	-0.0795	24.31	対象額	500万円以下	500万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	適用区分		A	b		工種区分					空港舗装工事	35.62	203.52	-0.1130	18.10	対象額	500万円以下	500万円を超え2億円以下		2億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	適用区分		A	b		工種区分					空港維持工事	73.10	600.24	-0.1365	44.18	<p><b>第8表</b></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額</th> <th>500万円以下</th> <th colspan="2">500万円を超え50億円以下</th> <th>50億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>適用区分</th> <th></th> <th>A</th> <th>b</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空港用地造成工事</td> <td>41.68</td> <td>163.20</td> <td>-0.0885</td> <td>22.61</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p> <p><b>第9表</b></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額</th> <th>500万円以下</th> <th colspan="2">500万円を超え20億円以下</th> <th>20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>適用区分</th> <th></th> <th>A</th> <th>b</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空港舗装工事</td> <td>35.26</td> <td>231.84</td> <td>-0.1221</td> <td>16.97</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p> <p><b>第10表</b></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象額</th> <th>500万円以下</th> <th colspan="2">500万円を超え2億円以下</th> <th>2億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th>下記の率とする</th> <th colspan="2">2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th>下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>適用区分</th> <th></th> <th>A</th> <th>b</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工種区分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空港維持工事</td> <td>72.70</td> <td>626.16</td> <td>-0.1396</td> <td>43.44</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この表は、東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行の補正済（復興係数適用済）の値である。</p> <p>2) 算定式  <math display="block">J_o = A \cdot N p^b</math>                     ただし、<math>J_o</math>：現場管理費率（%）  <math>N p</math>：純工事費（円）  <math>A, b</math>：変数値                      注）1. <math>J_o</math>の値は、小数第3位を四捨五入して第2位とする。                      2. 対象額とする純工事費については、「2. 共通仮設費（2）算定方法1）率計算式による部分の(ニ)」及び「2. 共通仮設費（2）算定方法5）間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。                 </p>	対象額	500万円以下	500万円を超え50億円以下		50億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	適用区分		A	b		工種区分					空港用地造成工事	41.68	163.20	-0.0885	22.61	対象額	500万円以下	500万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	適用区分		A	b		工種区分					空港舗装工事	35.26	231.84	-0.1221	16.97	対象額	500万円以下	500万円を超え2億円以下		2億円を超えるもの	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	適用区分		A	b		工種区分					空港維持工事	72.70	626.16	-0.1396	43.44
対象額	500万円以下		500万円を超え50億円以下		50億円を超えるもの																																																																																																																																													
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																														
適用区分		A	b																																																																																																																																															
工種区分																																																																																																																																																		
空港用地造成工事	42.11	143.52	-0.0795	24.31																																																																																																																																														
対象額	500万円以下	500万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの																																																																																																																																														
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																														
適用区分		A	b																																																																																																																																															
工種区分																																																																																																																																																		
空港舗装工事	35.62	203.52	-0.1130	18.10																																																																																																																																														
対象額	500万円以下	500万円を超え2億円以下		2億円を超えるもの																																																																																																																																														
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																														
適用区分		A	b																																																																																																																																															
工種区分																																																																																																																																																		
空港維持工事	73.10	600.24	-0.1365	44.18																																																																																																																																														
対象額	500万円以下	500万円を超え50億円以下		50億円を超えるもの																																																																																																																																														
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																														
適用区分		A	b																																																																																																																																															
工種区分																																																																																																																																																		
空港用地造成工事	41.68	163.20	-0.0885	22.61																																																																																																																																														
対象額	500万円以下	500万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの																																																																																																																																														
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																														
適用区分		A	b																																																																																																																																															
工種区分																																																																																																																																																		
空港舗装工事	35.26	231.84	-0.1221	16.97																																																																																																																																														
対象額	500万円以下	500万円を超え2億円以下		2億円を超えるもの																																																																																																																																														
	下記の率とする	2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																																																																														
適用区分		A	b																																																																																																																																															
工種区分																																																																																																																																																		
空港維持工事	72.70	626.16	-0.1396	43.44																																																																																																																																														
	I-2-②-37	① 49	I-2-②-37	① 49																																																																																																																																														

頁	新	旧																																											
<p>第VII編第11章 ④舗装版面取工</p> <p>VII-11-④-1 (③269)</p>	<p><b>④ 舗装版面取工</b></p> <p>1. 適用範囲 本資料は、アスファルト舗装版切断作業後の面取作業に適用する。 斜めコンクリート切断機には適用できない。</p> <p>2. 施工範囲 複合単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" data-bbox="667 619 1009 808"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">複合単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>舗装版切断 (傾斜式道路カッター)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </table>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 単価には雑器具の費用を含む。</p> <p>令和6年4月1日以降起工適用</p> <p>VII-11-④-1</p> <p>③ 269</p>	工 種	複合単価			機	労	材	舗装版切断 (傾斜式道路カッター)	○	○	×	<p><b>④ 舗装版面取工</b></p> <p>1. 適用範囲 本資料は、アスファルト舗装版切断作業後の面取作業に適用する。 斜めコンクリート切断機には適用できない。</p> <p>2. 施工範囲 施工フローは、下図のとおりとする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>3. 機種の選定 舗装面取機械の規格は、次表とする。</p> <table border="1" data-bbox="1855 892 2418 1018"> <caption>表3.1 舗装面取機械の規格</caption> <tr> <td>面取り厚さ (mm)</td> <td>50mm以下</td> </tr> <tr> <td>舗装面取機械の規格</td> <td>走行式 タイヤホイール型</td> </tr> <tr> <td>ビットの規格</td> <td>ビット長30～50mm</td> </tr> </table> <p>4. 編成人員 舗装版を面取る作業の編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="1855 1123 2418 1186"> <caption>表4.1 編成人員 (人)</caption> <tr> <td>職 種</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>編成人員</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>5. 施工歩掛 舗装版を面取りする作業の施工歩掛は下記を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="1855 1291 2626 1396"> <caption>表5.1 施工歩掛</caption> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">アスファルト舗装版面取り厚</th> </tr> <tr> <th>50mmまで</th> <th></th> </tr> <tr> <td>施工量 (C)</td> <td>m/日</td> <td>250</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビット損耗量</td> <td>個/100m</td> <td>0.07</td> <td></td> </tr> </table> <p>6. 諸 雑 費 諸雑費は、面取り工に伴うアスファルトの処分費及び面取り部分のアスファルト舗装の施工に必要な費用であり、労務費、機械運転費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" data-bbox="1855 1543 2507 1606"> <caption>表6.1 諸雑費率 (%)</caption> <tr> <th>舗装厚さ</th> <th>30mm</th> <th>40mm</th> <th>50mm</th> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> </table>	面取り厚さ (mm)	50mm以下	舗装面取機械の規格	走行式 タイヤホイール型	ビットの規格	ビット長30～50mm	職 種	普通作業員	編成人員	1	名 称	単 位	アスファルト舗装版面取り厚		50mmまで		施工量 (C)	m/日	250		ビット損耗量	個/100m	0.07		舗装厚さ	30mm	40mm	50mm	諸雑費率	5	8	12
工 種	複合単価																																												
	機	労	材																																										
舗装版切断 (傾斜式道路カッター)	○	○	×																																										
面取り厚さ (mm)	50mm以下																																												
舗装面取機械の規格	走行式 タイヤホイール型																																												
ビットの規格	ビット長30～50mm																																												
職 種	普通作業員																																												
編成人員	1																																												
名 称	単 位	アスファルト舗装版面取り厚																																											
		50mmまで																																											
施工量 (C)	m/日	250																																											
ビット損耗量	個/100m	0.07																																											
舗装厚さ	30mm	40mm	50mm																																										
諸雑費率	5	8	12																																										

削除

土木工事標準積算基準（令和6年4月1日一部改正）新旧対照表

頁	新	旧																																																				
<p>第VII編第11章 ④舗装版面取工</p> <p style="text-align: center;">VII-11-④-2 (③270)</p>	<p>3. 面取り部分における設計積算について</p> <p>面取り部分のアスファルト舗装の施工は標準部分の舗装打換え工と同時施工とし、同等の品質を確保すること。なお、面取り部分のアスファルトの処分費及び舗装工に要する費用は面取り工の単価に全て含まれるため、別に計上しないこと。</p> <div style="text-align: center;"> <p>【面取り部分の設計積算に関する説明図】</p> </div> <p>4. 単 価 表</p> <p>(1) 舗装版面取り1m当たり単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">コード番号</td> <td style="text-align: center;">T6051</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舗装版切断工 (傾斜式道路カッター)</td> <td></td> <td>m</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>切断深さ5cm以下</td> </tr> </tbody> </table>	コード番号	T6051	名 称	規格	単位	数 量	摘 要	舗装版切断工 (傾斜式道路カッター)		m	1	切断深さ5cm以下	<p>7. 面取り部分における設計積算について</p> <p>面取り部分のアスファルト舗装の施工は標準部分の舗装打換え工と同時施工とし、同等の品質を確保すること。ただし、面取り部分のアスファルトの処分費及び舗装工に要する費用は面取り工の諸雑費に含まれるため、別に計上しないこと。</p> <div style="text-align: center;"> <p>【面取り部分の設計積算に関する説明図】</p> </div> <p>8. 単 価 表</p> <p>(1) 舗装版面取り100m当たり単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">コード番号</td> <td style="text-align: center;">S4700</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td>100/(C)</td> </tr> <tr> <td>舗装版面取機械運転</td> <td></td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td>100/(C)</td> </tr> <tr> <td>ビット損耗費</td> <td></td> <td>個</td> <td style="text-align: center;">0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>*ビットの価格については、土木関係事業単価表による。</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舗装面取機械運転</td> <td>走行式 タイヤホイール型 ビット長 30~50mm</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量→3l ガソリン 機械損料数量→1.00</td> </tr> </tbody> </table> <p>*機械損料額については、土木関係事業単価表による。</p>	コード番号	S4700	名 称	規格	単位	数 量	摘 要	普通作業員		人	0.4	100/(C)	舗装版面取機械運転		日	0.4	100/(C)	ビット損耗費		個	0.07		諸 雑 費		式	1	表6.1	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	舗装面取機械運転	走行式 タイヤホイール型 ビット長 30~50mm	機-23	燃料消費量→3l ガソリン 機械損料数量→1.00
コード番号	T6051																																																					
名 称	規格	単位	数 量	摘 要																																																		
舗装版切断工 (傾斜式道路カッター)		m	1	切断深さ5cm以下																																																		
コード番号	S4700																																																					
名 称	規格	単位	数 量	摘 要																																																		
普通作業員		人	0.4	100/(C)																																																		
舗装版面取機械運転		日	0.4	100/(C)																																																		
ビット損耗費		個	0.07																																																			
諸 雑 費		式	1	表6.1																																																		
計																																																						
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																			
舗装面取機械運転	走行式 タイヤホイール型 ビット長 30~50mm	機-23	燃料消費量→3l ガソリン 機械損料数量→1.00																																																			
	③ 270	VII-11-④-2																																																				
	令和6年4月1日以降起工適用	削除																																																				

頁	新	旧
<p>第VII編第11章 ④舗装版面取工</p> <p>VII-11-④-3 (③271)</p>	<p>5. その他</p> <p>アスファルト舗装打換工における施工継目の処理に関する留意点</p> <p>(1) 施工方法 アスファルト舗装打換工を施工する場合には、新旧舗装の打継目の付着を良くするため、以下のとおり既設アスファルト舗装版切断面の面取りを行うことを原則とする。面取り工は傾斜式道路カッターによるが、機械が調達できない等の理由により面取り工を施工できない場合は、甲乙協議のうえ、従来の打継目の処理を行うこととし、設計変更の対象とする。</p> <p>1) 既設アスファルト舗装版切断面において、厚さ50mmを面取りする。ただし、舗装厚が50mm以下の場合は面取り厚さは新設する表層の厚さとする。 なお、面取り角度は30～40°とする。(面取り部分拡大図参照)</p> <p>2) 面取りを行った接合面に歴青材を薄く塗布する。</p> <p>3) 舗設前に歴青材を塗布した接合面を加熱処理する。</p> <p>(2) 施工対象工事 既設アスファルト舗装版を打換えるすべての工事を対象とする。ただし、単価契約による欠損部補修(パッチング)を除く。 なお、災害復旧工事については、担当主務課と打合せすること。</p> <p>(3) 発注図面 標準断面図の打継目に面取り工を図示する。 (標準断面図作成例)</p> <div data-bbox="593 903 1528 1197"> </div> <p>(4) 特記仕様書 特記仕様書には、打継目の処理について面取り工を原則とする旨を明記すること。なお、傾斜式道路カッターが調達できず、面取り工の施工が不可能な場合の対応についても明記すること。 (特記仕様書記載例) アスファルト舗装打継目については、舗装版切断面の面取りを舗装打換厚さの50mmまで施工し、面取り面には歴青材を薄く塗布することとする。さらに、舗設前には歴青材を塗布した接合面を加熱処理することとする。ただし、面取り工を施工するための傾斜式道路カッターが調達できないため、面取り工を施工できない場合は、甲乙協議を行ったうえで従来の打継目処理を行うこととし、設計変更の対象とする。</p> <p>令和6年4月1日以降起工適用 VII-11-④-3 ③ 271</p>	<p>9. その他</p> <p>アスファルト舗装打換工における施工継目の処理に関する留意点</p> <p>(1) 施工方法 アスファルト舗装打換工を施工する場合には、新旧舗装の打継目の付着を良くするため、以下のとおり既設アスファルト舗装版切断面の面取りを行うことを原則とする。面取り工は舗装面取機又は傾斜式道路カッターによるが、機械が調達できない等の理由により面取り工を施工できない場合は、甲乙協議のうえ、従来の打継目の処理を行うこととし、設計変更の対象とする。</p> <p>1) 既設アスファルト舗装版切断面において、厚さ50mmを面取りする。ただし、舗装厚が50mm以下の場合は面取り厚さは新設する表層の厚さとする。 なお、面取り角度は30～40°とする。(面取り部分拡大図参照)</p> <p>2) 面取りを行った接合面に歴青材を薄く塗布する。</p> <p>3) 舗設前に歴青材を塗布した接合面を加熱処理する。</p> <p>(2) 施工対象工事 既設アスファルト舗装版を打換えるすべての工事を対象とする。ただし、単価契約による欠損部補修(パッチング)を除く。 なお、災害復旧工事については、担当主務課と打合せすること。</p> <p>(3) 発注図面 標準断面図の打継目に面取り工を図示する。 (標準断面図作成例)</p> <div data-bbox="1810 903 2745 1197"> </div> <p>(4) 特記仕様書 特記仕様書には、打継目の処理について面取り工を原則とする旨を明記すること。なお、面取り機、または斜めコンクリート切断機が調達できず、面取り工の施工が不可能な場合の対応についても明記すること。 (特記仕様書記載例) アスファルト舗装打継目については、舗装版切断面の面取りを舗装打換厚さの50mmまで施工し、面取り面には歴青材を薄く塗布することとする。さらに、舗設前には歴青材を塗布した接合面を加熱処理することとする。ただし、面取り工を施工するための面取り機、または傾斜式道路カッターが調達できないため、面取り工を施工できない場合は、甲乙協議を行ったうえで従来の打継目処理を行うこととし、設計変更の対象とする。</p> <p>VII-11-④-3 ③ 271</p>

土木工事標準積算基準（令和6年4月1日一部改正）新旧対照表

頁  
 第七編第12章  
 ①トンネル工  
 VII-12-①-3  
 (3279)

		新									
		表4.6補 大型ブレーカ（ベースマシン含む）「通常断面」 (週/(トンネル延長)1m当たり)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.045	0.046	0.047	0.049	0.050	0.051	0.052	0.054		
	C II b	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058		
断面工法	D I a	0.058	0.060	0.061	0.062	0.063	0.065	0.067	0.068		
	D I b	0.061	0.063	0.064	0.065	0.065	0.067	0.070	0.071		
	D II	0.062	0.064	0.065	0.065	0.066	0.068	0.071	0.072		
		表4.8補 火薬「通常断面」 (kg/m当たり)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0		
	C II b	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0		
断面工法	D I a	25.0	27.5	30.0	32.5	35.0	37.5	40.0	42.5		
	D I b	25.0	27.5	30.0	32.5	35.0	37.5	40.0	42.5		
	D II	25.0	27.5	30.0	32.5	35.0	37.5	40.0	42.5		
		表4.10補 雷管（2～5段）「通常断面」 (個/m)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	33.3	36.7	40.0	43.3	46.7	50.0	53.3	56.7		
	C II b	33.3	36.7	40.0	43.3	46.7	50.0	53.3	56.7		
断面工法	D I a	27.5	30.3	33.0	35.8	38.5	41.3	44.0	46.8		
	D I b	27.5	30.3	33.0	35.8	38.5	41.3	44.0	46.8		
	D II	27.5	30.3	33.0	35.8	38.5	41.3	44.0	46.8		
		表4.11補 雷管（6～10段）「通常断面」 (個/m)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	33.3	36.7	40.0	43.3	46.7	50.0	53.3	56.7		
	C II b	33.3	36.7	40.0	43.3	46.7	50.0	53.3	56.7		
断面工法	D I a	27.5	30.3	33.0	35.8	38.5	41.3	44.0	46.8		
	D I b	27.5	30.3	33.0	35.8	38.5	41.3	44.0	46.8		
	D II	27.5	30.3	33.0	35.8	38.5	41.3	44.0	46.8		
		表4.14補 (掘削等) 諸雑費(その他の機械)「通常断面」 (%/m当たり)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	7.0	7.0	8.0	8.0	9.0	9.0	9.0	10.0		
	C II b	7.0	7.0	8.0	8.0	9.0	9.0	9.0	10.0		
断面工法	D I a	8.0	8.0	9.0	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	D I b	8.0	8.0	9.0	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	D II	8.0	8.0	9.0	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
		表4.16補 (掘削等) 諸雑費(その他材料)「通常断面」 (%/m当たり)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	C II b	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
断面工法	D I a	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	D I b	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	D II	8.0	8.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0		
		表4.18補 ホイールローダ「通常断面」 (週/(トンネル延長)1m当たり)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058		
	C II b	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058		
断面工法	D I a	0.069	0.071	0.072	0.072	0.073	0.074	0.079	0.082		
	D I b	0.069	0.071	0.072	0.072	0.073	0.074	0.079	0.082		
	D II	0.070	0.072	0.073	0.073	0.074	0.076	0.079	0.083		

令和6年4月1日以降起工適用  
③279

VII-12-①-3

		旧									
		表4.6補 大型ブレーカ（ベースマシン含む）「通常断面」 (週/(トンネル延長)1m当たり)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.045	0.046	0.047	0.049	0.050	0.051	0.052	0.054		
	C II b	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058		
断面工法	D I a	0.058	0.060	0.061	0.062	0.063	0.065	0.067	0.068		
	D I b	0.061	0.063	0.064	0.065	0.065	0.067	0.070	0.071		
	D II	0.062	0.064	0.065	0.065	0.066	0.068	0.071	0.072		
		表4.8補 火薬「通常断面」 (kg/m当たり)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0		
	C II b	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0		
断面工法	D I a	25.0	27.5	30.0	32.5	35.0	37.5	40.0	42.5		
	D I b	25.0	27.5	30.0	32.5	35.0	37.5	40.0	42.5		
	D II	25.0	27.5	30.0	32.5	35.0	37.5	40.0	42.5		
		表4.10補 雷管（2～5段）「通常断面」 (個/m)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	33.3	36.7	40.0	43.3	46.7	50.0	53.3	56.7		
	C II b	33.3	36.7	40.0	43.3	46.7	50.0	53.3	56.7		
断面工法	D I a	27.5	30.3	33.0	35.8	38.5	41.3	44.0	46.8		
	D I b	27.5	30.3	33.0	35.8	38.5	41.3	44.0	46.8		
	D II	27.5	30.3	33.0	35.8	38.5	41.3	44.0	46.8		
		表4.11補 雷管（6～10段）「通常断面」 (個/m)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	33.3	36.7	40.0	43.3	46.7	50.0	53.3	56.7		
	C II b	33.3	36.7	40.0	43.3	46.7	50.0	53.3	56.7		
断面工法	D I a	27.5	30.3	33.0	35.8	38.5	41.3	44.0	46.8		
	D I b	27.5	30.3	33.0	35.8	38.5	41.3	44.0	46.8		
	D II	27.5	30.3	33.0	35.8	38.5	41.3	44.0	46.8		
		表4.14補 (掘削等) 諸雑費(その他の機械)「通常断面」 (%/m当たり)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	7.0	7.0	8.0	8.0	9.0	9.0	9.0	10.0		
	C II b	7.0	7.0	8.0	8.0	9.0	9.0	9.0	10.0		
断面工法	D I a	8.0	8.0	9.0	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	D I b	8.0	8.0	9.0	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	D II	8.0	8.0	9.0	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
		表4.16補 (掘削等) 諸雑費(その他材料)「通常断面」 (%/m当たり)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	C II b	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
断面工法	D I a	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	D I b	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
	D II	8.0	8.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0		
		表4.18補 ホイールローダ「通常断面」 (週/(トンネル延長)1m当たり)									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積（余掘含まず）(m <sup>2</sup> )									
		50	55	60	65	70	75	80	85		
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058		
	C II b	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058		
断面工法	D I a	0.069	0.071	0.072	0.072	0.073	0.074	0.079	0.082		
	D I b	0.069	0.071	0.072	0.072	0.073	0.074	0.079	0.082		
	D II	0.070	0.072	0.073	0.073	0.074	0.076	0.079	0.083		

令和6年4月1日以降起工適用  
③279

VII-12-①-3

土木工事標準積算基準（令和6年4月1日一部改正）新旧対照表

頁	新	旧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
第VII編第12章 ①トンネル工  VII-12-①-5 (3281)	<p><b>表4.36補 吹付プラント設備「通常断面」</b> (週/(トンネル延長)1m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">設計掘削断面積(余掘含まず)(m<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> <th>80</th> <th>85</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">補助ベンチ付き全断面工法</td> <td>C II a</td> <td>0.045</td> <td>0.046</td> <td>0.047</td> <td>0.049</td> <td>0.050</td> <td>0.051</td> <td>0.052</td> <td>0.054</td> </tr> <tr> <td>C II b</td> <td>0.049</td> <td>0.050</td> <td>0.051</td> <td>0.053</td> <td>0.054</td> <td>0.055</td> <td>0.056</td> <td>0.058</td> </tr> <tr> <td>D I a</td> <td>0.058</td> <td>0.060</td> <td>0.061</td> <td>0.062</td> <td>0.063</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.068</td> </tr> <tr> <td>D I b</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.064</td> <td>0.065</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.070</td> <td>0.071</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.062</td> <td>0.064</td> <td>0.065</td> <td>0.065</td> <td>0.066</td> <td>0.068</td> <td>0.071</td> <td>0.072</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(余掘含まず)(m <sup>2</sup> )								50	55	60	65	70	75	80	85	補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.045	0.046	0.047	0.049	0.050	0.051	0.052	0.054	C II b	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058	D I a	0.058	0.060	0.061	0.062	0.063	0.065	0.067	0.068	D I b	0.061	0.063	0.064	0.065	0.065	0.067	0.070	0.071	D II	0.062	0.064	0.065	0.065	0.066	0.068	0.071	0.072	<p><b>表4.36補 吹付プラント設備「通常断面」</b> (週/(トンネル延長)1m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">設計掘削断面積(余掘含まず)(m<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> <th>80</th> <th>85</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">補助ベンチ付き全断面工法</td> <td>C II a</td> <td>0.045</td> <td>0.046</td> <td>0.047</td> <td>0.049</td> <td>0.050</td> <td>0.051</td> <td>0.052</td> <td>0.054</td> </tr> <tr> <td>C II b</td> <td>0.049</td> <td>0.050</td> <td>0.051</td> <td>0.053</td> <td>0.054</td> <td>0.055</td> <td>0.056</td> <td>0.058</td> </tr> <tr> <td>D I a</td> <td>0.058</td> <td>0.060</td> <td>0.061</td> <td>0.062</td> <td>0.063</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.068</td> </tr> <tr> <td>D I b</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.064</td> <td>0.065</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.070</td> <td>0.071</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.062</td> <td>0.064</td> <td>0.065</td> <td>0.065</td> <td>0.066</td> <td>0.068</td> <td>0.071</td> <td>0.072</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(余掘含まず)(m <sup>2</sup> )								50	55	60	65	70	75	80	85	補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.045	0.046	0.047	0.049	0.050	0.051	0.052	0.054	C II b	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058	D I a	0.058	0.060	0.061	0.062	0.063	0.065	0.067	0.068	D I b	0.061	0.063	0.064	0.065	0.065	0.067	0.070	0.071	D II	0.062	0.064	0.065	0.065	0.066	0.068	0.071	0.072																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	掘削方法			岩区分	設計掘削断面積(余掘含まず)(m <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		50	55		60	65	70	75	80	85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.045	0.046	0.047	0.049	0.050	0.051	0.052	0.054																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		C II b	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		D I a	0.058	0.060	0.061	0.062	0.063	0.065	0.067	0.068																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		D I b	0.061	0.063	0.064	0.065	0.065	0.067	0.070	0.071																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		D II	0.062	0.064	0.065	0.065	0.066	0.068	0.071	0.072																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(余掘含まず)(m <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			50	55	60	65	70	75	80	85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.045	0.046	0.047	0.049	0.050	0.051	0.052	0.054																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	C II b	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	D I a	0.058	0.060	0.061	0.062	0.063	0.065	0.067	0.068																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	D I b	0.061	0.063	0.064	0.065	0.065	0.067	0.070	0.071																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	D II	0.062	0.064	0.065	0.065	0.066	0.068	0.071	0.072																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p><b>表4.38補 集塵機装置運転「通常断面」</b> (週/(トンネル延長)1m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">設計掘削断面積(余掘含まず)(m<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> <th>80</th> <th>85</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">補助ベンチ付き全断面工法</td> <td>C II a</td> <td>0.045</td> <td>0.046</td> <td>0.047</td> <td>0.049</td> <td>0.050</td> <td>0.051</td> <td>0.052</td> <td>0.054</td> </tr> <tr> <td>C II b</td> <td>0.049</td> <td>0.050</td> <td>0.051</td> <td>0.053</td> <td>0.054</td> <td>0.055</td> <td>0.056</td> <td>0.058</td> </tr> <tr> <td>D I a</td> <td>0.058</td> <td>0.060</td> <td>0.061</td> <td>0.062</td> <td>0.063</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.068</td> </tr> <tr> <td>D I b</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.064</td> <td>0.065</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.070</td> <td>0.071</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.062</td> <td>0.064</td> <td>0.065</td> <td>0.065</td> <td>0.066</td> <td>0.068</td> <td>0.071</td> <td>0.072</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(余掘含まず)(m <sup>2</sup> )								50	55	60	65	70	75	80	85	補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.045	0.046	0.047	0.049	0.050	0.051	0.052	0.054	C II b	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058	D I a	0.058	0.060	0.061	0.062	0.063	0.065	0.067	0.068	D I b	0.061	0.063	0.064	0.065	0.065	0.067	0.070	0.071	D II	0.062	0.064	0.065	0.065	0.066	0.068	0.071	0.072	<p><b>表4.38補 集塵機装置運転「通常断面」</b> (週/(トンネル延長)1m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">設計掘削断面積(余掘含まず)(m<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> <th>80</th> <th>85</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">補助ベンチ付き全断面工法</td> <td>C II a</td> <td>0.045</td> <td>0.046</td> <td>0.047</td> <td>0.049</td> <td>0.050</td> <td>0.051</td> <td>0.052</td> <td>0.054</td> </tr> <tr> <td>C II b</td> <td>0.049</td> <td>0.050</td> <td>0.051</td> <td>0.053</td> <td>0.054</td> <td>0.055</td> <td>0.056</td> <td>0.058</td> </tr> <tr> <td>D I a</td> <td>0.058</td> <td>0.060</td> <td>0.061</td> <td>0.062</td> <td>0.063</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.068</td> </tr> <tr> <td>D I b</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.064</td> <td>0.065</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.070</td> <td>0.071</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.062</td> <td>0.064</td> <td>0.065</td> <td>0.065</td> <td>0.066</td> <td>0.068</td> <td>0.071</td> <td>0.072</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(余掘含まず)(m <sup>2</sup> )								50	55	60	65	70	75	80	85	補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.045	0.046	0.047	0.049	0.050	0.051	0.052	0.054	C II b	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058	D I a	0.058	0.060	0.061	0.062	0.063	0.065	0.067	0.068	D I b	0.061	0.063	0.064	0.065	0.065	0.067	0.070	0.071	D II	0.062	0.064	0.065	0.065	0.066	0.068	0.071	0.072																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
掘削方法			岩区分	設計掘削断面積(余掘含まず)(m <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	50	55		60	65	70	75	80	85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.045	0.046	0.047	0.049	0.050	0.051	0.052	0.054																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	C II b	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	D I a	0.058	0.060	0.061	0.062	0.063	0.065	0.067	0.068																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	D I b	0.061	0.063	0.064	0.065	0.065	0.067	0.070	0.071																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	D II	0.062	0.064	0.065	0.065	0.066	0.068	0.071	0.072																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(余掘含まず)(m <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		50	55	60	65	70	75	80	85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	0.045	0.046	0.047	0.049	0.050	0.051	0.052	0.054																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	C II b	0.049	0.050	0.051	0.053	0.054	0.055	0.056	0.058																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	D I a	0.058	0.060	0.061	0.062	0.063	0.065	0.067	0.068																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	D I b	0.061	0.063	0.064	0.065	0.065	0.067	0.070	0.071																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	D II	0.062	0.064	0.065	0.065	0.066	0.068	0.071	0.072																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p><b>表4.42補・表4.43補 ロックボルト「通常断面」</b> 設計図面に基づき、必要数量を計上する。</p>	<p><b>表4.42補・表4.43補 ロックボルト「通常断面」</b> 設計図面に基づき、必要数量を計上する。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
<p><b>表4.53補 H形鋼支保工「通常断面」</b> 設計図面に基づき、必要数量を計上する。</p>	<p><b>表4.53補 H形鋼支保工「通常断面」</b> 設計図面に基づき、必要数量を計上する。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
<p><b>表4.58補 鏡吹付工施工費率「通常断面」</b> ( )内の数値は、ずり出しにおいて運搬距離(片押し延長+坑外片道運搬距離)が1.2kmを超える場合は、ずり運搬距離が1.2kmを超える部分に対して適用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="8">設計掘削断面積(余掘含まず)(m<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> <th>80</th> <th>85</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="18">補助ベンチ付き全断面工法</td> <td rowspan="3">C II a</td> <td>鏡吹付施工労務費率</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(3)</td> <td>(3)</td> <td>(3)</td> <td>(4)</td> <td>(4)</td> <td>(4)</td> <td>(4)</td> <td>(4)</td> </tr> <tr> <td>鏡吹付施工機械費率</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td><b>19</b></td> <td><b>19</b></td> <td><b>19</b></td> <td><b>20</b></td> <td><b>20</b></td> <td><b>20</b></td> <td><b>21</b></td> <td><b>21</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">C II b</td> <td>鏡吹付施工労務費率</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(7)</td> </tr> <tr> <td>鏡吹付施工機械費率</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>18</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">D I a</td> <td>鏡吹付施工労務費率</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(7)</td> </tr> <tr> <td>鏡吹付施工機械費率</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>23</td> <td><b>24</b></td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td><b>31</b></td> <td><b>31</b></td> <td><b>32</b></td> <td><b>34</b></td> <td><b>34</b></td> <td><b>35</b></td> <td><b>36</b></td> <td><b>37</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">D I b</td> <td>鏡吹付施工労務費率</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> </tr> <tr> <td>鏡吹付施工機械費率</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>23</td> <td><b>23</b></td> <td>24</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td><b>29</b></td> <td><b>29</b></td> <td><b>30</b></td> <td><b>32</b></td> <td><b>32</b></td> <td><b>33</b></td> <td><b>34</b></td> <td><b>35</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">D II</td> <td>鏡吹付施工労務費率</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(4)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> </tr> <tr> <td>鏡吹付施工機械費率</td> <td>15</td> <td><b>15</b></td> <td>17</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td><b>26</b></td> <td><b>27</b></td> <td><b>28</b></td> <td><b>29</b></td> <td><b>30</b></td> <td><b>31</b></td> <td><b>31</b></td> <td><b>32</b></td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	名称	設計掘削断面積(余掘含まず)(m <sup>2</sup> )								50	55	60	65	70	75	80	85	補助ベンチ付き全断面工法	C II a	鏡吹付施工労務費率	3	3	3	4	4	4	4	4		(3)	(3)	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	鏡吹付施工機械費率	12	12	12	15	15	15	16	16			<b>19</b>	<b>19</b>	<b>19</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>21</b>	<b>21</b>	C II b	鏡吹付施工労務費率	5	6	6	6	7	7	7	7		(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	(6)	(7)	鏡吹付施工機械費率	8	8	9	9	10	10	11	11			18	18	19	20	21	21	21	22	D I a	鏡吹付施工労務費率	5	5	5	5	6	6	6	7		(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	(7)	鏡吹付施工機械費率	19	20	20	21	23	<b>24</b>	25	26			<b>31</b>	<b>31</b>	<b>32</b>	<b>34</b>	<b>34</b>	<b>35</b>	<b>36</b>	<b>37</b>	D I b	鏡吹付施工労務費率	5	5	5	5	5	6	6	6		(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	鏡吹付施工機械費率	18	19	20	20	23	<b>23</b>	24	25			<b>29</b>	<b>29</b>	<b>30</b>	<b>32</b>	<b>32</b>	<b>33</b>	<b>34</b>	<b>35</b>	D II	鏡吹付施工労務費率	4	5	5	5	5	5	6	6		(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	鏡吹付施工機械費率	15	<b>15</b>	17	19	19	20	20	22			<b>26</b>	<b>27</b>	<b>28</b>	<b>29</b>	<b>30</b>	<b>31</b>	<b>31</b>	<b>32</b>	<p><b>表4.58補 鏡吹付工施工費率「通常断面」</b> ( )内の数値は、ずり出しにおいて運搬距離(片押し延長+坑外片道運搬距離)が1.2kmを超える場合は、ずり運搬距離が1.2kmを超える部分に対して適用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="8">設計掘削断面積(余掘含まず)(m<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> <th>80</th> <th>85</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="18">補助ベンチ付き全断面工法</td> <td rowspan="3">C II a</td> <td>鏡吹付施工労務費率</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(3)</td> <td>(3)</td> <td>(3)</td> <td>(4)</td> <td>(4)</td> <td>(4)</td> <td>(4)</td> <td>(4)</td> </tr> <tr> <td>鏡吹付施工機械費率</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td><b>21</b></td> <td><b>21</b></td> <td><b>21</b></td> <td><b>22</b></td> <td><b>23</b></td> <td><b>23</b></td> <td><b>23</b></td> <td><b>23</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">C II b</td> <td>鏡吹付施工労務費率</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(7)</td> </tr> <tr> <td>鏡吹付施工機械費率</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>18</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">D I a</td> <td>鏡吹付施工労務費率</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(7)</td> </tr> <tr> <td>鏡吹付施工機械費率</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>23</td> <td><b>24</b></td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td><b>34</b></td> <td><b>34</b></td> <td><b>35</b></td> <td><b>37</b></td> <td><b>38</b></td> <td><b>39</b></td> <td><b>40</b></td> <td><b>41</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">D I b</td> <td>鏡吹付施工労務費率</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> </tr> <tr> <td>鏡吹付施工機械費率</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>23</td> <td><b>24</b></td> <td>24</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td><b>32</b></td> <td><b>32</b></td> <td><b>33</b></td> <td><b>35</b></td> <td><b>36</b></td> <td><b>37</b></td> <td><b>38</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">D II</td> <td>鏡吹付施工労務費率</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(4)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(5)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> </tr> <tr> <td>鏡吹付施工機械費率</td> <td>15</td> <td><b>16</b></td> <td>17</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td><b>29</b></td> <td><b>29</b></td> <td><b>30</b></td> <td><b>32</b></td> <td><b>32</b></td> <td><b>33</b></td> <td><b>34</b></td> <td><b>35</b></td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	名称	設計掘削断面積(余掘含まず)(m <sup>2</sup> )								50	55	60	65	70	75	80	85	補助ベンチ付き全断面工法	C II a	鏡吹付施工労務費率	3	3	3	4	4	4	4	4		(3)	(3)	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	鏡吹付施工機械費率	12	12	12	15	15	15	16	16			<b>21</b>	<b>21</b>	<b>21</b>	<b>22</b>	<b>23</b>	<b>23</b>	<b>23</b>	<b>23</b>	C II b	鏡吹付施工労務費率	5	6	6	6	7	7	7	7		(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	(6)	(7)	鏡吹付施工機械費率	8	8	9	9	10	10	11	11			18	18	19	20	21	21	21	22	D I a	鏡吹付施工労務費率	5	5	5	5	6	6	6	7		(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	(7)	鏡吹付施工機械費率	19	20	20	21	23	<b>24</b>	25	26			<b>34</b>	<b>34</b>	<b>35</b>	<b>37</b>	<b>38</b>	<b>39</b>	<b>40</b>	<b>41</b>	D I b	鏡吹付施工労務費率	5	5	5	5	5	6	6	6		(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	鏡吹付施工機械費率	18	19	20	20	23	<b>24</b>	24	25			<b>32</b>	<b>32</b>	<b>33</b>	<b>35</b>	<b>36</b>	<b>37</b>	<b>38</b>	D II	鏡吹付施工労務費率	4	5	5	5	5	5	6	6		(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	鏡吹付施工機械費率	15	<b>16</b>	17	19	19	20	20	22			<b>29</b>	<b>29</b>	<b>30</b>	<b>32</b>	<b>32</b>	<b>33</b>	<b>34</b>	<b>35</b>
掘削方法				岩区分	名称	設計掘削断面積(余掘含まず)(m <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	50	55	60			65	70	75	80	85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	鏡吹付施工労務費率	3	3	3	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			(3)	(3)	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		鏡吹付施工機械費率	12	12	12	15	15	15	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			<b>19</b>	<b>19</b>	<b>19</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>21</b>	<b>21</b>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	C II b	鏡吹付施工労務費率	5	6	6	6	7	7	7	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	(6)	(7)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		鏡吹付施工機械費率	8	8	9	9	10	10	11	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			18	18	19	20	21	21	21	22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	D I a	鏡吹付施工労務費率	5	5	5	5	6	6	6	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	(7)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		鏡吹付施工機械費率	19	20	20	21	23	<b>24</b>	25	26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			<b>31</b>	<b>31</b>	<b>32</b>	<b>34</b>	<b>34</b>	<b>35</b>	<b>36</b>	<b>37</b>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	D I b	鏡吹付施工労務費率	5	5	5	5	5	6	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		鏡吹付施工機械費率	18	19	20	20	23	<b>23</b>	24	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			<b>29</b>	<b>29</b>	<b>30</b>	<b>32</b>	<b>32</b>	<b>33</b>	<b>34</b>	<b>35</b>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	D II	鏡吹付施工労務費率	4	5	5	5	5	5	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
鏡吹付施工機械費率		15	<b>15</b>	17	19	19	20	20	22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		<b>26</b>	<b>27</b>	<b>28</b>	<b>29</b>	<b>30</b>	<b>31</b>	<b>31</b>	<b>32</b>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
掘削方法	岩区分	名称	設計掘削断面積(余掘含まず)(m <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			50	55	60	65	70	75	80	85																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
補助ベンチ付き全断面工法	C II a	鏡吹付施工労務費率	3	3	3	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			(3)	(3)	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		鏡吹付施工機械費率	12	12	12	15	15	15	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			<b>21</b>	<b>21</b>	<b>21</b>	<b>22</b>	<b>23</b>	<b>23</b>	<b>23</b>	<b>23</b>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	C II b	鏡吹付施工労務費率	5	6	6	6	7	7	7	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	(6)	(7)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		鏡吹付施工機械費率	8	8	9	9	10	10	11	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			18	18	19	20	21	21	21	22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	D I a	鏡吹付施工労務費率	5	5	5	5	6	6	6	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	(7)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		鏡吹付施工機械費率	19	20	20	21	23	<b>24</b>	25	26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			<b>34</b>	<b>34</b>	<b>35</b>	<b>37</b>	<b>38</b>	<b>39</b>	<b>40</b>	<b>41</b>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	D I b	鏡吹付施工労務費率	5	5	5	5	5	6	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		鏡吹付施工機械費率	18	19	20	20	23	<b>24</b>	24	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			<b>32</b>	<b>32</b>	<b>33</b>	<b>35</b>	<b>36</b>	<b>37</b>	<b>38</b>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	D II	鏡吹付施工労務費率	4	5	5	5	5	5	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
鏡吹付施工機械費率		15	<b>16</b>	17	19	19	20	20	22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		<b>29</b>	<b>29</b>	<b>30</b>	<b>32</b>	<b>32</b>	<b>33</b>	<b>34</b>	<b>35</b>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
VII-12-①-5	令和6年4月1日以降起工適用 ③281	VII-12-①-5 令和6年4月1日以降起工適用 ③281																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		